

平成30年11月16日

船橋市長 松 戸 徹 様

船 橋 市 リ ハ ビ リ セ ン タ ー
運 営 委 員 会 委 員 長 鳥 海 正 明

船橋市リハビリセンターの平成29年度事業報告並びに中期目標及び中期
行動計画達成状況の評価について（報告）

船橋市リハビリセンター運営委員会設置要綱第2条第3号の規定に基づき、本
委員会において、平成29年度事業報告、中期目標及び行動計画達成状況並びに
毎事業年度における管理の実績について評価を行った。

本委員会は、中期行動計画を中期目標達成のための方法として了承し、その評
価については別紙のとおりである。

船橋市リハビリセンター 中期目標及び行動計画達成状況評価

1. 採点基準及び評価について

第2次中期目標及び行動計画達成状況評価（案）の作成にあたっては、事務局において各目標の仮評価を行うものとし、それぞれに4段階の採点を行った。採点の基準及び評価は以下の通りである。

【評価】

- S・・・目標が高いレベルで達成されている
- A・・・目標が達成されている
- B・・・目標が概ね達成されている
- C・・・目標が達成されていない

【各目標の評価基準】

I 外来患者について

目標1 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合100分の50以上

目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

各年度の目標値から算出した達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標5 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

Ⅲ 訪問リハビリ利用者について

目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

各年度の目標値から算出した達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標8 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

Ⅳ 訪問看護利用者について

目標9 利用者アンケートによる患者満足度

Ⅴ リハビリ事業利用者について

目標10 利用者アンケートによる患者満足度

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標 1 1 診療所部門 経常収支比率

目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率

各年度の目標値から算出した執行率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行なう

- S … 各年度の行動計画以上の事業を実施した。
- A … 各年度の行動計画どおりの事業を実施した。
- B … 各年度の行動計画にある事業は実施したが回数が少なかった。
- C … 各年度の行動計画にある事業が実施できなかった。

2. 平成29年度目標・実績・評価について

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

I 外来患者について

目標1 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

外来患者の満足度調査においては、「リハビリテーションの質・技術についての満足のみ」の割合を除き、調査項目が目標値を超える結果となり、高いレベルで目標が達成されていた。

今後も患者の高い満足度が維持できるように、引き続き同様の取り組みを実施していただきたい。

II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

評価： S

通所リハビリを終了した者53人中、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者は13人、達成率は24.5%と、前年度と同様に目標値（5%以上）を大きく上回る結果となった。

今後も、利用者にとって質の高い通所リハビリテーションの提供を行っていただきたい。

目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士が占める割合100分の50以上

評価： S

全体の介護職員3人のうち介護福祉士は3人であり、介護福祉士の占める割合は、100%となった。

平成30年度も引き続き、中重度の要介護者や認知症高齢者に対応できるケア体制を維持していただきたい。

目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

評価： S

勤続年数3年以上の者は、昨年度に比べ4人増員され全体の職員数23人のうち20人、87.0%となり、目標値の30%を大きく上回る結果となった。

平成30年度以降も、引き続き職員の確保に努めていただきたい。

目標5 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

通所リハビリのスケジュール以外の項目は、それぞれ「満足」と「やや満足」を足した割合が80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上と目標値を高く上回る結果となった。

スケジュールに関する項目についても目標が達成できるよう取り組みを続けていただきたい。

Ⅲ訪問リハビリ利用者について

目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

評価： S

訪問リハビリを終了した者62人中、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者は15人、達成率は24.2%と目標値（5%以上）を大きく上回る結果となった。

平成30年度も、引き続き利用者の目標を達成できるよう質の高い訪問リハビリテーションの提供を行っていただきたい。

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

評価： S

利用者に直接提供する各職種のうち、勤続年数3年以上の者の割合は、理学療法士では10人のうち8人、作業療法士では6人のうち6人、言語聴覚士では2人のうち1人となっており、計18人のうち15人、83.3%となり、目標を高く上回る結果となった。

平成30年度も、引き続き同様の取り組みを継続していただきたい。

目標 8 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

全ての項目について、それぞれ「満足」と「やや満足」を足した割合が80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上と目標値を高く上回る結果となった。

引き続き、平成30年度も同様の取り組みを続けていただきたい。

IV訪問看護利用者について

目標 9 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

全ての項目において、目標値を大きく上回っていた。

訪問看護職員の採用に苦慮する中、訪問スケジュール調整においても、利用者の便宜を図るなど利用者のニーズに沿った取り組みを行っていた。

引き続き、平成30年度も同様の取り組みを続けていただきたい。

Vリハビリ事業利用者について

目標 10 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

リハビリ事業利用者へのアンケート項目の内、「満足」と「やや満足」を足した割合がいずれも80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上で全ての項目について目標達成に至った。

引き続き、平成30年度も同様の取り組みを続けていただきたい。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標 1 1 診療所部門 経常収支比率

評価： A

平成29年度においては、92.3%と目標値（100%以上）を達成することができなかった。

しかし、診療所の稼働状況は増加傾向で、前年度比565件の診療件数の増加が図られた。平成30年度も目標達成に向けて安定的な経営に努めていただきたい。

目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率

評価： A

平成29年度においては、90.3%と目標値（100%以上）を達成することができなかった。

しかしながら、昨年度74.1%から90.3%へと16.2ポイント増加することができた。

また、市立リハビリテーション病院との連携を強化し、サービスエリア内の居宅介護事業所に直接出向き情報交換を行う等の取り組みが行われていた。

平成30年度も、目標達成に向けて安定的な経営に努めていただきたい。

3. その他管理に関する重要事項

目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う

評価： S

計画に掲げる事業を全て実施していた。

中でも「リハビリ関係者向け研修会」については、年3回の計画のところ実績では年15回開催していた。また、研修会参加者のアンケート結果では、研修内容について「とても良い」「良い」と回答した方が96%おり、非常に好評を得ていることが伺える。

今後も多くの方にリハビリテーションを普及啓発できる事業を実施し、地域リハビリテーションの推進に努めていただきたい。